

全国労働衛生週間

今年も10月1日から全国労働衛生週間が始まります。全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する国民の意識を高めるとともに、職場での自主的な活動を促し、労働者の健康を確保することなどを目的に昭和25年の第1回実施依頼、今年で第68回を迎えます。10月1日(日)から7日(土)までが本週間。9月1日から30日までが準備期間です。今年のスローガンは「働き方改革で見直そう みんなが輝く 健康職場」です。



今回の特徴は、治療と仕事の両立支援の推進や、改正労働安全衛生法に基づくラベル表示や安全データシート(SDS)の公布といった化学物質による健康障害防止対策の徹底、ストレスチェック制度を含むメンタルヘルス対策や過重労働対策の推進などの周知を行うことです。

前期 内部監査

今年度1回目の内部監査が進んでいます。当社のマネジメントシステムが、適切に運用され、実効ある成果が得られているかを検証しています。9月にはマネジメントシステム改定後、初めての外部審査を控えています。職員同士が互いの施工活動を監査することによって、ISO規格への理解を深めると共に、自身の活動で不十分な点を見いだすのに役立ちます。収集された監査データは、社長が行うマネジメントレビューに反映されます。



安全と衛生

戸沼岩崎建設株式会社 発行
平成29年8月15日
http://www.tonuma.com/
第223号

北海道開発局長賞受賞

平成28年度施工「函館江差自動車道 木古内町 新幸連川橋下部外一連工事」(施工監理技術者：坂尻篤彦)が、平成29年度北海道開発局長優良工事等表彰(工事部門30社)を受賞しました。表彰式は、7月25日(火)、札幌第一合同庁舎で行われ、戸沼社長、坂尻さん、現場代理人を務めた富吉さん、工事に携わった朝山さんと齊藤さん、そして、渡邊技術部長が出席し、受注者として戸沼社長が、技術者として坂尻さんが、北海道開発局の和泉局長から表彰状を受け取りました。

建設業の取り巻く環境は厳しさを増しています。i-Constructionをはじめ、生産性の向上は建設業界の命題であり、技術者には高い技術力とマネジメント能力が求められています。

戸沼岩崎建設は、これからも職員一人ひとりの人間力と技術力の向上を目指し、業界と地域の発展に努めて参ります。



「かわガキ教室」in川汲

NPO法人 北海道魚道研究会は、川汲川で子ども達とその保護者を対象に川に棲む魚と昆虫の関わりや、幼虫から成虫への変化などについてから学び合う「川童(かわガキ)育成!川の生き物勉強会」を開催しました。

8月7日(日)午前10



時、川汲公園に子ども37名とその保護者ら過去最高の78名が集まりました。はじめに中塚副理事長が「かわガキ育成!川の生き物勉強会」は今年で12年目。川汲川は5基ある魚道のおかげで魚が増えています。川と川の生き物にふれ合い、素敵な思い出をつくって下さい」と挨拶。勉強会では奈良副理事長が先生役を務め、水槽に入れた魚や川で捕まえた虫について説明しました。また、持ち寄ったペットボトルで水中メガネを作ったり、笹の葉で舟をつくりタイムレース大会を行いました。参加した子ども達、保護者の皆さん、そして、魚道研究会のメンバーは、川の楽しみ方を学ぶと共に、自然環境の保全について理解を深める一日となりました。

時、川汲公園に子ども37名とその保護者ら過去最高の78名が集まりました。はじめに中塚副理事長が「かわガキ育成!川の生き物勉強会」は今年で12年目。川汲川は5基ある魚道のおかげで魚が増えています。川と川の生き物にふれ合い、素敵な思い出をつくって下さい」と挨拶。勉強会では奈良副理事長が先生役を務め、水槽に入れた魚や川で捕まえた虫について説明しました。また、持ち寄ったペットボトルで水中メガネを作ったり、笹の葉で舟をつくりタイムレース大会を行いました。参加した子ども達、保護者の皆さん、そして、魚道研究会のメンバーは、川の楽しみ方を学ぶと共に、自然環境の保全について理解を深める一日となりました。

第52回湯の川温泉 花火大会

湯の川温泉花火大会は、函館の納涼祭りとして親しまれています。源泉などから採った湯を奉納する「献湯式」が湯倉神社で行われます。花火は松倉川下流付近から打ち上げられ、津軽海峡沖に浮かぶイカ釣り漁船の漁火と共に晩夏の夜空を彩ります。

◇日時：8月19日(土)19:40~20:40
◇場所：松倉川下流 ◇打上数：3000発
※荒天時は8/20(日)に延期、8/21(月)に再延期します。8/21(月)までに開催できない場合は中止となります。

